



市民病院

八十ちゃん通信

問合せ
市民病院管理課
☎(48)5050

採血室をリニューアルしました

これまで中央採血室は、窓口で受付をしていましたが、3月22日より患者自身で受付をする「自動受付」を開始しました。



【受付から採血までの流れ】

- ①採血採尿受付機に診察券を入れます。
- ②整理券（尿検査のある人は採尿カップ）が出てくるので受け取ります（尿検査のみの人は整理券は発行されません）。
- ③返ってきた診察券を受け取ります。
- ④採尿のある人は、採尿室で採尿を行い、採尿室内の尿提出窓口に出します。
- ⑤整理券と案内票を持ち、採血室前の待合で待機します。
- ⑥待合モニターに整理券番号が表示されたら、採血室に入ります。
- ⑦整理券番号の表示された採血台に進みます。
- ⑧整理券を採血者に渡して、採血を受けます。

ご不明な点がありましたら、中央採血室窓口までお尋ねください。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

碧南の歴史へのいざない

問合せ 文化財課内市史資料調査室 ☎(41)4566

No.24 人物小伝 永井直勝

碧南市に住む人に是非知っておいて欲しい戦国武将に、永井直勝がいます。彼は永禄6年（1563年）に大浜で生まれ、はじめは徳川家康の長男松平信康に仕えますが、信康の死後は家康に取り立てられました。



△永井直勝

そして、天正12年（1584年）3月に起きた長久手の戦いで武勲を挙げ、大坂冬・夏の陣などでも活躍し、のちに7万2千石の下総国古河城主（現茨城県古河市）となりました。

文武にも優れ、武家の儀式について指南を受けるよう家康の命を受け、当代随一の教養人であった細川藤孝（幽斎）より「室町家式」3巻を進呈され、そのことごとくを伝授されました。

伏見城で行われた徳川家康への將軍宣下の式では、その経験を生かし、式の取次役の1人となりました。直勝は家康の側に仕え、江戸幕府を支え続けたことがわかります。



△永井直勝生誕地・宝珠寺

寛永2年（1625年）に満62歳でその生涯を閉じました。そして、その子尚政は山城国淀城主（現京都市伏見区）、直清は摂津国高槻城主（現大阪府高槻市）となり、江戸時代初期の幕府における畿内支配の一翼を担い、栄えました。

【直勝の末裔】

- ・幕末大政奉還に関わった幕臣永井尚志
- ・三島由紀夫



△宝珠寺にある石碑